



川崎市立川崎病院
シンボルツリー

くすの木

川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。



川崎市

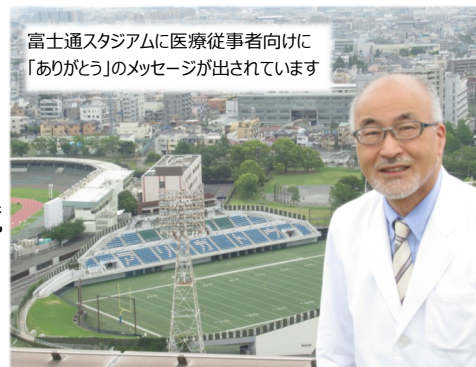
新型コロナウイルス 特集号

新型コロナウイルスと闘ってきました。川崎病院は逃げません！

川崎病院は、2月6日のクルーズ船の乗客以来、新型コロナウイルス感染症患者を感染症病棟で受け入れてきましたが、6月5日、めでたく最後の患者さんが退院いたしました。これまで45名の確定患者、うち13名の重症患者に加え、30名の疑似症患者さんを診療いたしました。多くのご支援・励まし本当にありがとうございました。

市民の皆さんにご理解いただきたいのは、4か月の長期にわたり院内感染は全く起こしていないことと、患者別動線、独立病棟、陰圧個室、防護具着脱技術などの感染防止管理により院内環境はずっと安全で清潔に保たれてきたことです。

今後も、コロナの警戒は続きますが、必要な場合は安心してご来院ください。コロナとも、それ以外の病気とも、取り組み続けます。



富士通スタジアムに医療従事者向けに「ありがとう」のメッセージが出されています

川崎病院病院長 金井 歳雄

川病は逃げない

そして クリーン です



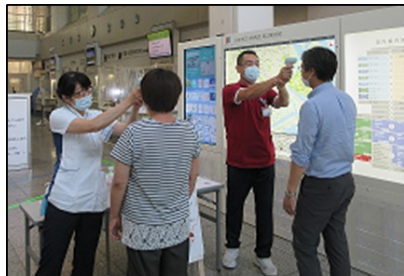
救急・感染症病棟職員

お見せします！

川崎病院の コロナウイルスとの

闘い

新型コロナウイルス感染症は、SARS-CoV2による感染症のことです。世界保健機関は、このウイルスによる感染症をCOVID-19と名付けました。2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に広がりました。



感染対策を徹底しています！

当院の正面玄関では、来院した患者さんやご家族全員に検温と体調確認を実施しております。37.5度以上の発熱がある方や咳・息苦しさ等の症状がある方は、専用診療ブースへご案内し、症状等のある患者さんと他の方が待合時や診察時に接触する機会が無いようにしています。

また、新型コロナウイルスの陽性患者さんや、感染の可能性が高い患者さんが入院する場合には、感染症専用の入口・エレベーターを使用していますので、一般の受診患者さんと接触する機会はありません。

入院患者さんへの面会も制限させて頂いており、院内にウイルスを持ち込まないよう徹底しています。

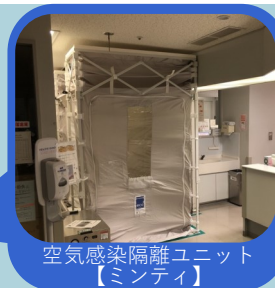
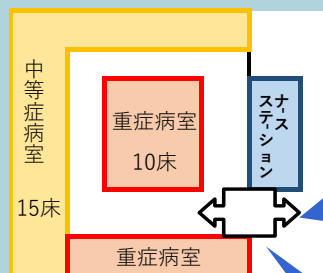


病棟も新型コロナに備えています！

当院では、総合内科医と救急医の全10名によるコロナチームを発足するとともに、看護師等の医療体制の強化を図りました。重症患者・中等症患者が急増した場合でも十分に対応できるよう診療体制を整えています。

また、空気感染隔離ユニット(ミンティ)[※]を救急病棟に設置し、隔離病室を32床(25床で運用)へ拡大しました。

※ ミンティ：設置することで病棟全体を隔離することができます。



感染症内科坂本先生に現場の治療について聞きました！

効果が有望視されている抗ウイルス薬

- ファビピラビル(アビガン) 新型インフルエンザ治療薬
 - レムデシビル(ベクルリー) エボラ出血熱の治療薬
- 気管支喘息治療薬のシクレソノド(オルベスコ)もウイルスの活性を失わせることが確認されています。

新型コロナウイルス感染症の治療では、風邪のような症状の場合には、対症療法(熱や咳などをの症状を抑える治療)を行いますが、肺炎の場合は酸素投与、抗ウイルス薬の投与を行う場合があります。

抗ウイルス薬などによる対症療法で症状が改善しない場合には、人工呼吸器を装着します。さらに、最重症の場合には、ECMO(エクモ)を装着することもあります。

ECMOとは、体外式膜型人工肺という装置で、人工肺とポンプで肺の代替を行う装置のことです。専門的な知識や技術、経験を持つ医師・看護師・臨床工学技士などの専門チームが必要であることから、実施できる医療機関は限られています。



＼入れない／ ＼罹らない／ ＼拡げない／ 新型コロナウイルス から守るために

川崎病院では、3つのスローガンのもと職員全員で感染対策に取り組んでいます。

入れない

来院された方には、マスク着用と手指消毒をお願いしています。また、入院患者さんのご面会を禁止させて頂いております。

出入口の専用化も持ち込まないための対策です。

患者さんの飛沫（咳やくしゃみのしぶき）はサージカルマスクで防ぐことができます。

エアロゾルが発生するような医療処置を行う時は、N95マスクやHALOマスクという特殊なマスクをつけています。



空気感染も防護できる
HALOマスク



目からの感染を防ぐためフェイスシールドを着けています。

着衣を汚染から守るためにガウンと手袋を着けています。これらの防護服を慎重に脱ぎ、入念に手洗いを行っています。

感染対策の基本は

手洗い・咳エチケット です！

感染を拡大させないためにも、

皆さんも徹底しましょう！

✓ 最前線で新型コロナウイルスと闘う

「患者を救うため」「感染拡大を食い止めるため」——。

医師・看護師だけでなく、様々な職種の職員たちが新型コロナウイルスと闘ってまいりました。その中でも、新型コロナウイルス感染症治療の最前線で闘ってきた櫻井看護師が、朝日新聞の取材を受けましたのでご紹介します。



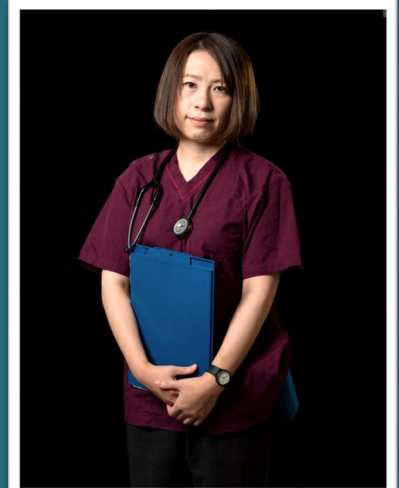
「これが私たちの使命」

最前線でウイルスと闘う

櫻井看護師は、救急外来の仕事もしながら、感染症病棟にも入る。結核患者などの対応に当たったことはあるが、防護服やフェイスシールドなどの重装備で業務するのは初めてだという。

「患者さんも隔離され、一人で頑張っています。私たちが寄り添って、安心して過ごせるような環境を提供していきたい」

(2020年5月27日 朝日新聞夕刊掲載記事)

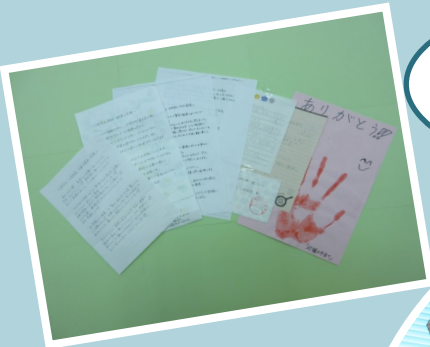


大変多くの市民の皆さま、企業の皆さまから温かいご支援やご声援をいただいております。

病院内で働くすべての職員が勇気づけられました。引き続き、私たちは、使命を全うしてまいります。



ありがとう
ございました！



恐怖心に負けず患者さんを一生懸命治療してくれて、ありがとうございます。(向小6年生)



コロナで大変だけど、がんばってください。(大島小5年生)

川崎市立病院は、陽性患者を受入れている他の民間病院とともに、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっています。

患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの意思で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報厳重に保護され、その秘密は守られます。

[発行元] 令和2年6月11日発行（第39号） 発行責任者：林 徳厚／編集：広報委員会
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話：044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/000037/37856/kawasaki/>